

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公表番号】特表2008-507805(P2008-507805A)
 【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)
 【年通号数】公開・登録公報2008-010
 【出願番号】特願2007-522884(P2007-522884)
 【国際特許分類】

G 1 1 C 11/14 (2006.01)
 H 0 1 L 21/8246 (2006.01)
 H 0 1 L 27/105 (2006.01)
 H 0 1 L 43/06 (2006.01)
 G 1 1 C 11/18 (2006.01)
 H 0 1 H 36/00 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 C 11/14 A
 H 0 1 L 27/10 4 4 7
 H 0 1 L 43/06 Z
 G 1 1 C 11/18
 G 1 1 C 11/14 Z
 H 0 1 H 36/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月18日(2008.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁気メモリデバイスにおいて使用するための調整可能な磁気スイッチであって、
磁気バイアス磁場を与えるための磁気源と、
磁化レベルを記憶するために前記磁気バイアス磁場内に配置された磁気部品と、
 磁気リコイル効果にしたがって前記磁気部品中に記憶された前記磁化レベルを設定する
 ために前記磁気部品の周囲に同軸に配置されたコイルと、
 を備える調整可能な磁気スイッチ。

【請求項2】

前記コイルに接続され、該コイルを通じて電流パルスを送ることにより誘導磁場を形成
 して前記磁化レベルを設定する電流源を更に備える、請求項1に記載の調整可能な磁気ス
 イッチ。

【請求項3】

前記磁化レベルと前記磁化バイアス磁場との組み合わせがハイ状態またはロー状態のう
 ちの一方を示す、請求項1に記載の調整可能な磁気スイッチ。

【請求項4】

前記磁気源が永久磁石である、請求項1に記載の調整可能な磁気スイッチ。

【請求項5】

前記磁気部品が永久磁石である、請求項1に記載の調整可能な磁気スイッチ。

【請求項6】

無線周波数識別タグ、携帯端末または携帯電話において使用するための、請求項 1 に記載の調整可能な磁気スイッチ。

【請求項 7】

バイアス磁場を与える少なくとも 1 つのバイアス磁気源と、

前記バイアス磁場内に配置された少なくとも 1 つの磁気スイッチであって、磁化レベルを記憶するための磁気部品と該磁気部品の周囲に同軸に配置されたコイルとを備える磁気スイッチと、

前記磁気スイッチに近接して配置され、該磁気スイッチに記憶された磁化レベルおよび前記磁気バイアス磁場を感知する少なくとも 1 つのセンサと、
を備えるメモリデバイス。

【請求項 8】

前記磁化レベルと前記磁気バイアス磁場との組み合わせがハイ状態またはロー状態のうちの一方を示す、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 9】

前記磁気源が永久磁石である、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 10】

前記磁気部品が永久磁石である、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 11】

前記磁気源によって形成される前記磁気バイアス磁場は、センサのオフセット閾値を完全に補償するように設定される、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 12】

前記磁気源によって形成される前記磁気バイアス磁場は、センサのオフセット閾値を部分的に補償するように設定される、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 13】

前記センサがホール効果センサである、請求項 7 に記載のメモリデバイス。

【請求項 14】

無線周波数識別タグ、携帯端末または携帯電話において使用するための、請求項 7 に記載のメモリデバイス。